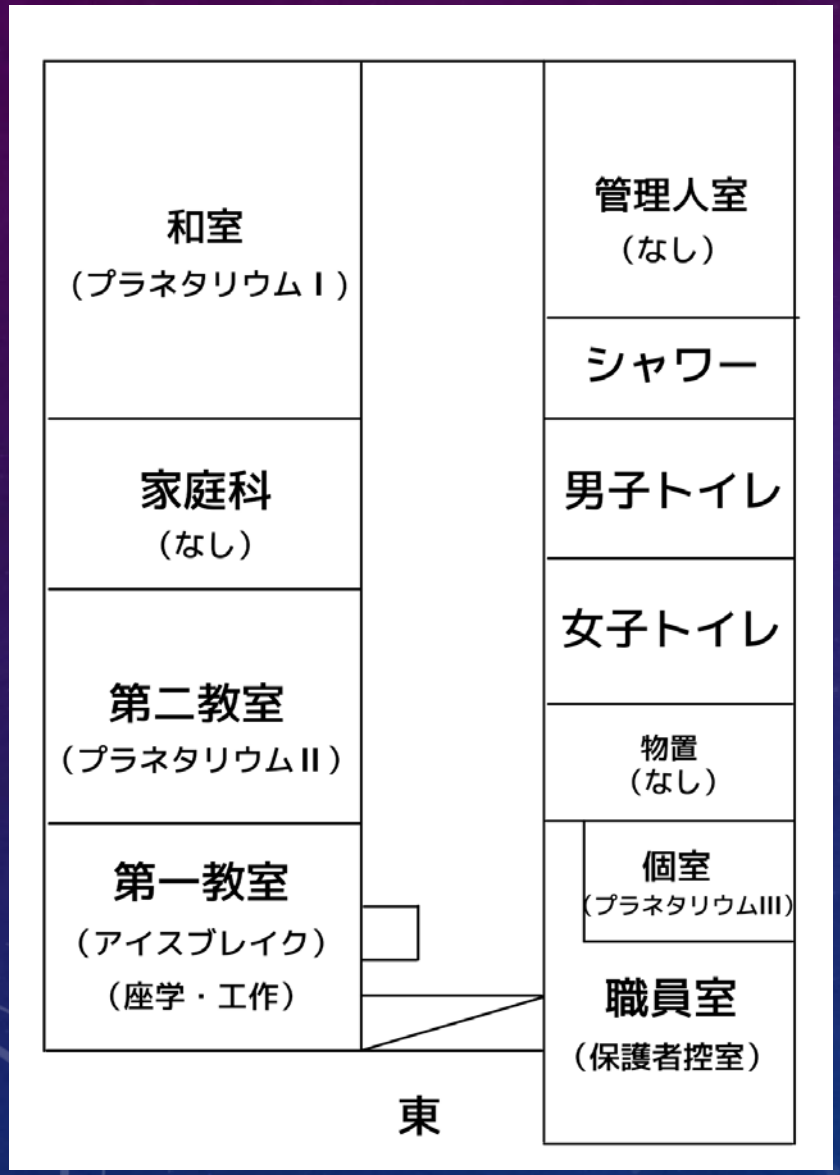
ヨゾラガッキュウ　実施報告書

京都外国語大学 グローバル観光学科 野崎ゼミ 大原学舎チーム

実施概要

- 名称　　ヨゾラガッキュウ　～ むかしの人は星を観て何を考えたのか ～
- 開催日　　2021年10月16日（土） 10月17日（日）
- 開催時間　16：15～19：30
- 開催場所　〒601-1246　京都府京都市左京区大原井出町
  龍池教育財団 大原郊外学舎
- 実施内容　工作（星座早見盤）
  座学（テーマ①十月に見える星座の位置関係　テーマ②星座に関する神話）
  星座鑑賞会（校庭）　※天候不良の場合、室内用プラネタリウム鑑賞と座学の振り返り）
- 参加料金　座学を受講する子供一人につき500円（現地決済/プラネタリウムのみの参加は無料）
- 主催　　京都外国語大学 グローバル観光学科 大原学舎チーム
- 協賛　　大原自治連合会　龍池教育財団　龍池自治連合会
- ターゲット：大原学区と龍池学区の保護者と子どもたち（1年生～6年生）

会場概要　学舎内



第一教室（座学・工作）



第二教室（プラネタリウムⅡ）



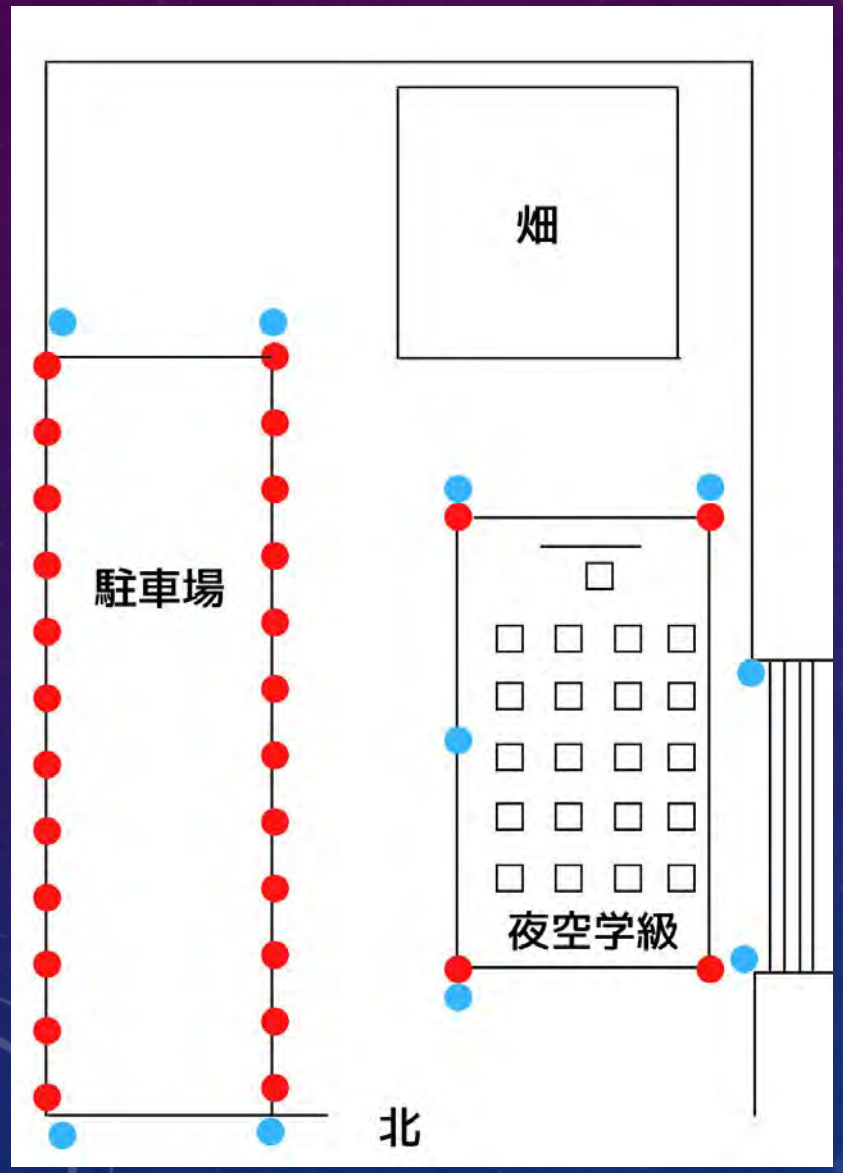
和室（プラネタリウムⅠ）



個室（プラネタリウムⅢ）



会場概要　グラウンド



記号
●（照明）
●（コーン）







タイムスケジュール

開始	終了	所要時間	概要	具体的な内容	目的	場所	役割
13:00	16:45	3:45:00	会場設営	◎業務内容 ①校庭に机と椅子,黒板を設置（20セット配置）*画像 ②誘導灯の設置 ③教材の確認 ④プラネタリム部屋の設営（投影状況の確認）*画像 ⑤施設内の消毒 ⑥駐車場の設営	・安全に企画を実施するため ・コンテンツの質を高めるため	龍池大原郊外学舎	
16:45	17:15	0:30:00	受付	①参加費の収集・（アンケート表・自己紹介シート）配布 ②参加者確認（ニックネーム記入：ガムテープ） ③席案内（座席を予め設定しておく）	・事前に金銭関係の業務を済ませることでトラブル発生を防ぐ ・参加者の名前を把握するため	第一教室前	①受付班（座席案内） ②駐車場誘導班
17:15	17:30	0:15:00	アイスブレイク	①参加児童の班分け ②班内での自己紹介	・龍池学区と大原学院の学生間の交流の機会を作る ・ 緊張をほぐし発言しやすい環境を作る 18:00-の工作の際に協力し合えるよう	第一教室	進行役
17:30	18:00	0:30:00	工作	◎星座早見表の作成 ①必要材料の配布（2-3分）（資料1,2・板目表紙×3・のり）*画像 ②手順の説明＋作成開始（必要に応じてメンバーが支援）（25分）	・授業の内容を深めてもらう 知識→経験 ・自宅に帰った後も観察をしてもらいたい ・オリジナルの星座や自分のお気に入りを書き込んでもらう ・星を見るという楽しさを知ってもらいたい	第一教室	進行役
18:00	18:10	0:10:00	休憩		・スイッチのON/OFFをハッキリさせることで集中力を高める		
18:10	18:50	0:40:00	座学	◎星座の種類（全25種）*画像 ペガスス・カシオペア・アンドロメダ・鯨・ケフェウス・ペルセウス・南の魚 白鳥・琴・鷲・蛇遣い・ヘラクレス・牛飼い・小熊・大熊・蛇・海豚・矢 牡羊・魚・水瓶・山羊・射手・蠍・天秤（星占い） ①秋の星座の位置関係について ②エチオピア王家の物語（カシオペア・アンドロメダ・鯨・ペルセウス） ③勇者ペルセウス（ペルセウス） ④ゼウスの恋物語（白鳥） ⑤妻を愛した琴弾（琴） ⑥医者の神様（蛇遣い） ⑦勇者ヘラクレス（ヘラクレス） ⑧リボンでつながれた親子（うお座） ⑨間抜けな山羊（山羊） ⑩アストレアの秤（天秤） ※話途中で複数回のクイズを行う	・星座のことに興味関心を持ってもらう ・星座について触れて身近に感じてもらう ・小学校で学ぶ理科の授業をより楽しく思ってもらえるように ・新たに興味を持ってもらうことで児童の可能性を伸ばしたい ・夏の星座の位置関係を知ってもらう	第一教室	・遅刻した参加者への対応 ・貴重品管理（参加費・私物など） ・待合室で見守り （授業を受けない子への対応）
18:50	19:00	0:10:00	移動				
19:00	19:30	0:30:00	天体観測 アンケート記入	◎屋外の椅子に座って夜空を眺める ・写真撮影も可能 ・途中解散も可能	・実際に天体観測を行うことで座学での学びを感じてほしい ・地元の良さを改めて感じてほしい（大原学院） ・大原に溢れる自然の豊かさを感じてほしい（御所南小学校） ・次回のイベント開催の際に活かすため	グラウンド	・途中帰宅の参加者を誘導 （車と人との接触事故を防ぐため）
19:30	19:40	0:10:00	解散（参加者）	①誘導灯に従って順次解散。 ②天体観測中に途中帰宅することも可能。 ③車との接触事故を防ぐために誘導を行う。	・参加者が小学生のため終了時刻が遅すぎると危険だから ・公共交通機関を利用する参加者を考慮		
雨天時							
19:00	19:30	0:30	プラネタリウムの投影	①星座のプラネタリウム （和室） ②北天のプラネタリウム （第二教室） ③ピンホール式プラネタリウム （小部屋） ※③は部屋が狭いため、入場は少人数交代制（3-4人）	・星を見ることの楽しさに知ってもらいたい ・夜空に浮かぶ星座の位置関係を体感してもらいたい ・学びをアウトプットする楽しさを知ってほしい	第二教室 和室 小部屋	

開催の記録



来場者受付の様子

アイスブレイク（ばくだんゲームと自己紹介）



開催の記録





工作（星座早見盤の製作）

開催の記録





座学（星座の位置関係）

開催の記録



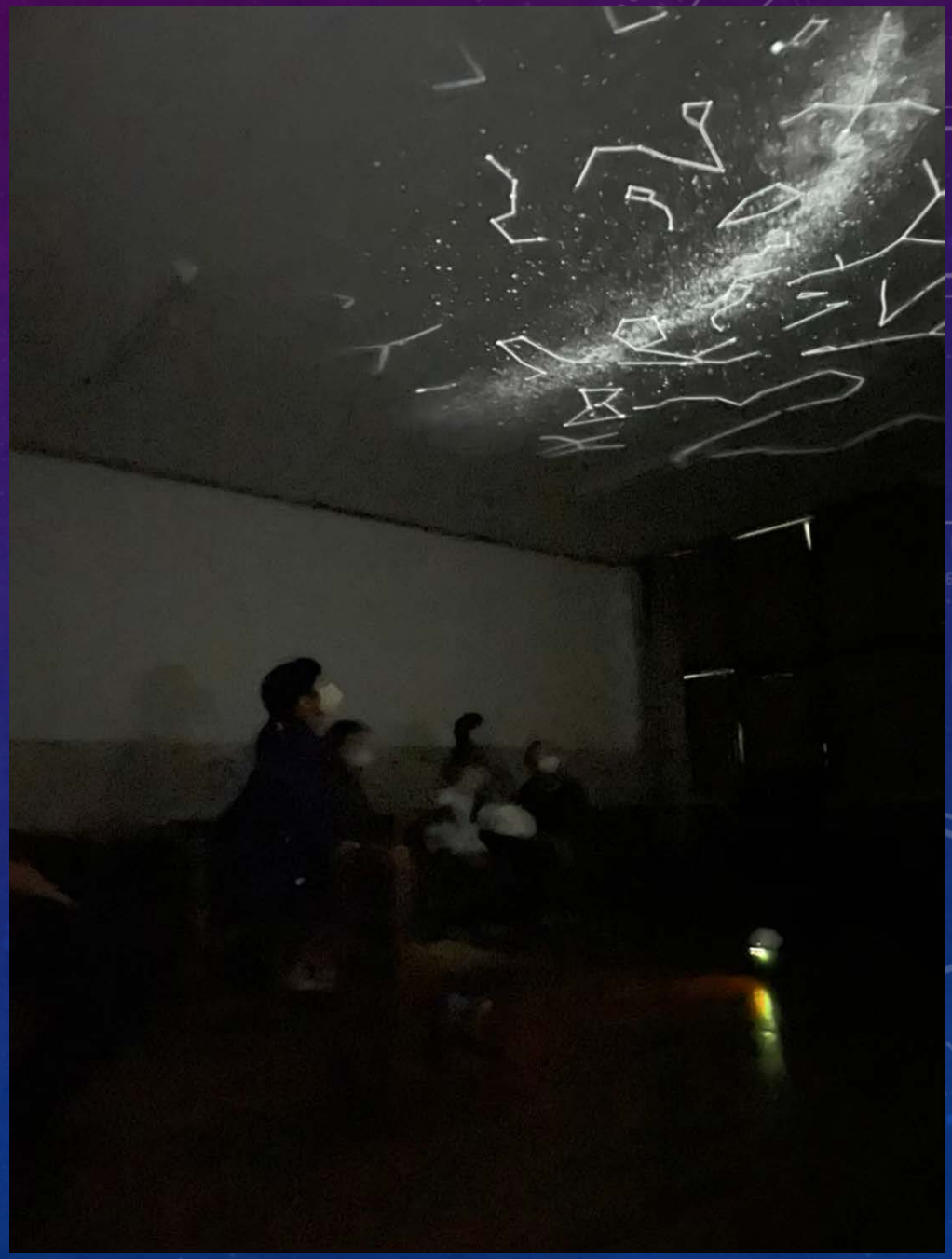


座学（星座にまつわる神話）

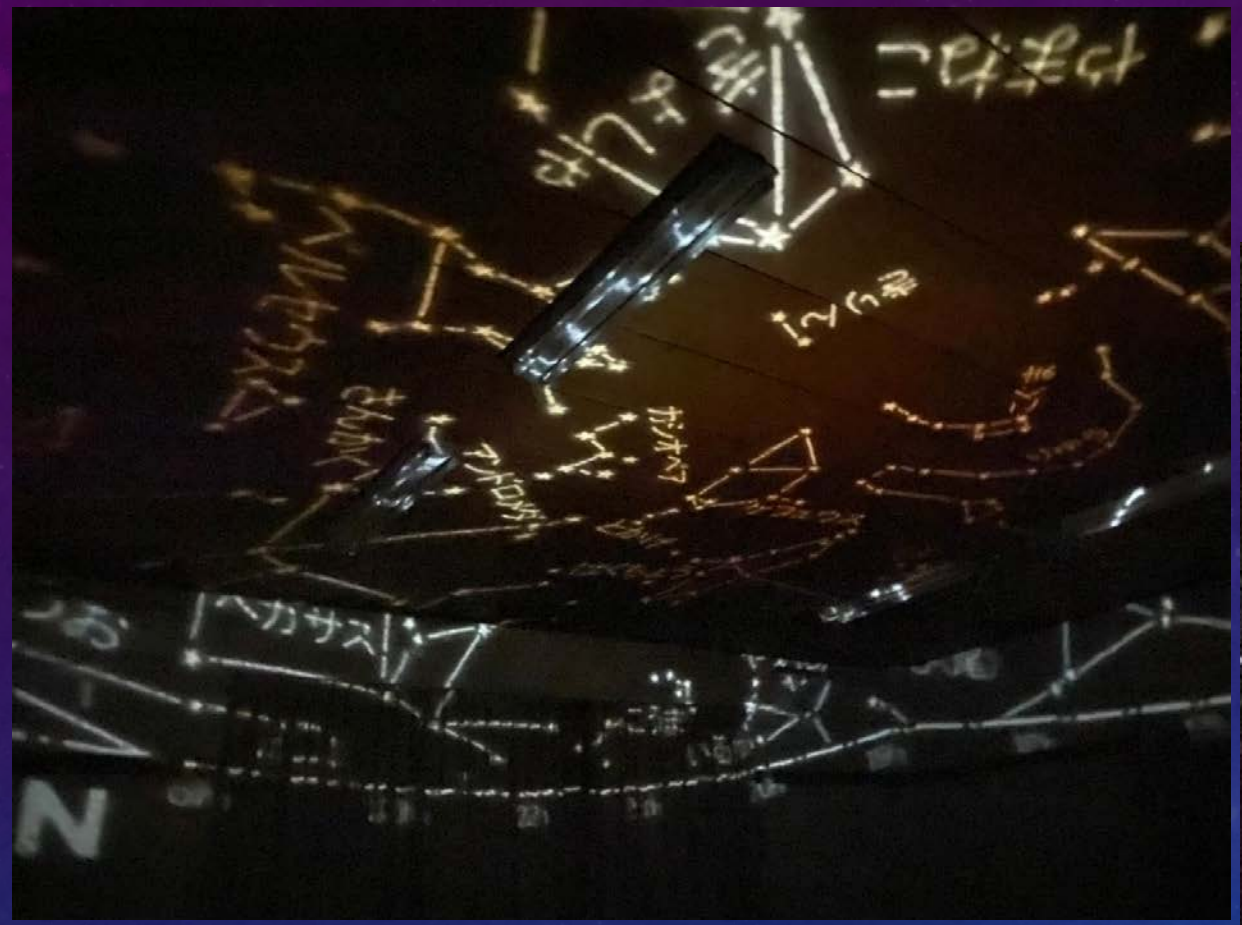
開催の記録



プラネタリウム鑑賞の様子



開催の記録



プラネタリウムⅠ（和室）

プラネタリウムⅡ（第二教室）



総括

当初の予定ではイベントの開催時期を夏休みである8月13日-15日としていたが、コロナウイルス流行に伴うまん延防止措置の発令のため度重なる延期の結果、10月中旬での開催となった。10月の段階でもコロナウイルスは落ち着いていなかったこと。そして学校が始まっている10月中旬での開催となったことの2点が龍池学区からの参加者を誘致することができず、大原学区と龍池学区の交流ができなかった要因であると考えている。

天候に恵まれず、室内でのプラネタリウム鑑賞となってしまったが参加者には楽しんでいただけたと考えている。次回開催をすることができるのであれば、屋外での星座鑑賞を行いたい。

参加者数は、10月16日（土）11名※2名はプラネタリウムのみ参加、 10月17日（日）4名。イベント開催後のアンケートでは保護者、子供たちの満足度がともに9割を超えていた。保護者を対象としたアンケート項目に、イベントの次回開催があれば参加したいかどうかという調査で、参加したいという回答が9名、やや思うという回答が1名で、次回開催への期待値が高いと判断できる。他にも、開催時期を夏休みの期間中にしてほしいといった声や、各季節に見ることができる星座についても知りたいという意見が見られた。

以上の結果から本イベントの開催を通して、「教育を軸としたイベントの実施を通じた学舎の有効活用」「大原学舎を開催地としたイベントの継続」という目的を達成することができたと考えられる。